

は し が き

令和2年度の県税収入額は約1,248億円と、前年度に比べて約6億円増加しました。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う企業業績の悪化や法人税割の税率引下げ等の影響により法人二税が減収し、税の減少があったものの、地方消費税や株式等譲渡所得割に伴う個人県民税等が増収となったことによります。

本県では、令和3年度からの新たな香川づくりの指針として『みんなでつくるせとうち田園都市・香川』実現計画』を策定し、基本目標とする『せとうち田園都市の確かな創造』の実現に向け、「安全と安心を築く香川」、「新しい流れをつくる香川」、「誰もが輝く香川」の3つを基本方針として、各分野にわたる取り組みを行うことにしており、このような施策を着実に推進するためには、貴重な自主財源である県税収入の安定確保が極めて重要となっています。

このため、「信頼される税務行政の推進」、「自主納税の促進」、「課税事務の適正な執行と税務手続のデジタル化」、「滞納整理の推進」等を税務事務運営方針として、税務職員一人ひとりがその責務の重要性を十分に自覚し、納税者の信頼と協力を得ながら、適正かつ公平な賦課徴収を推進することにより、納税秩序の確立と県税収入の確保に努めてまいります。

本書は、令和2年度の県税賦課徴収の実績及び関係資料を収録したものです。県税をはじめ県財政の実情についてさらに理解を深めていただく一助として、広く活用いただければ幸いです。

令和4年2月

香川県税務課長 三谷 一秀